

研修会のお知らせ

連続講座 第2弾

渡部律子先生(関西学院大学)による

基礎から学ぶ 気づきの事例検討会

～スーパービジョンの要素を取り入れてアセスメントの力を磨く～

◆第1回 理論編◆

連続講座第二弾として、社会福祉の実践現場の方たちとの事例研究のご経験の豊富な渡部律子先生をお招きし、事例検討(ケースカンファレンス)の意義と方法を学ぶ講座を開催します。特にアセスメントに焦点をしぼり、日ごろの面接を点検し、どのように事例検討会の開催へとつなげていくかを演習形式で学びます。仲間や同僚との学びあいの場である事例検討会は、面接技術とアセスメント技術の実践力を鍛えるのに絶好の機会であることを学びたいと思います。

本講座受講の成果を日々の実践に実際に役立てていただくことを目指し、理論編と実践編の二本立ての講座としました。ソーシャルワーカーを始め、ケアマネジャー、ホームヘルパー、介護・保育・教育等の現場で働く方々、広く社会福祉の現場で実践に携わる方々の多くのご参加をお待ちしております。

開催日 **2008年12月20日(土)**

場 所 同志社大学新町キャンパス臨光館204教室

(アクセスはホームページをご参照下さい。http://www.doshisha.ac.jp/access/ima_access.html)

対 象 社会福祉の実践に携わる方

開 場 13:00～(受付開始)

時 間 14:00開始 17:00終了予定 ※途中休憩あり

参加費用 一人3000円(資料代込み) ※当日受付にてお支払い下さい

定 員 100名

2009年2月(予定)には「第2回 実践編」が予定されています。理論編受講者の中から、実践編に参加することができますが、定員が30名程度のため、人数が多い場合は抽選となります。あらかじめご了承ください。

この研修会は、文部科学省「大学院教育改革支援プログラム」(大学院GP)の助成を基に運営されます。

講師紹介

渡部律子 (わたなべりつこ) 先生

Ritsuko Watanabe

関西学院大学総合政策学部 教授

[専門分野]

高齢者福祉、家庭福祉、ソーシャルワーク援助技術論、
ストレスコーピングとソーシャルサポート理論、対人援助職者
の教育、スーパービジョン・職務満足、ケアマネジメント

[略 歴]

1953年 大阪府に生まれる
1976年 関西学院大学社会学部卒業
1977年 同大学大学院修士課程修了
1982年 米国ミシガン大学大学院に留学
1983年 社会福祉学修士 (M.S.W.)
1988年 心理学修士
1989年 哲学博士 (Ph.D. 専攻: 社会福祉学・心理学)
この間、日米両国で臨床実践。ニューヨーク州立大学パ
ッファロー校、シカゴ大学社会福祉系大学院で教鞭をとる。
ソーシャルワーク援助理論・技法、調査法・研究法、老
年学を教えるとともに、老年学専攻の修士学生の実習指導
および論文指導を行う。

[主な著書等]

近著「基礎から学ぶ気づきの事例検討会 スーパーバイザ
ーがいなくても実践力は高められる」(中央法規)をはじめ、
著書多数。

社会福祉教育・ 研究支援センター・ 事例研究・研修 プロジェクトとは

この度、同志社大学大学院社会福祉学専攻の「国際的「理論・
実践循環型」教育システム」の構築が、文部科学省「大学院教育
改革支援プログラム」(大学院GP)に採択されました。この文
科省助成と本学社会福祉学科の卒業生からの寄付をもとに「同
志社大学社会福祉教育・研究支援センター (Do-ERC-SW)」
が2007年11月に設立されました。当センターでは主に6つのプ
ロジェクトを柱に、さまざまな事業が行われます。

中でも、本プロジェクトは、主に二つの目的で当センター内に設
けられました。一つは、本学が院生等に対し、本事業の開催を
通じて、将来の職業的スキルとモチベーションの涵養に努める
場と機会を提供すること、二つ目は、社会福祉専門職教育及び
研究を担う本学が社会貢献を果たす一つのあり方として、社会
福祉の実践現場で専門職指導を担う現任のソーシャルワーカー
らに対し、現任訓練・教育に関する研鑽の機会と場を提供する
ことです。メンバーは研究者を始め、保健・医療・福祉のさま
ざまな現場の実践者から構成され、各種研修の企画や運営・評
価にあたります。本プロジェクトでは、実践・教育・研究の統
合の端緒を「ケース・カンファレンス」と「スーパービジョン」に
見出し、今後はこれらの方法に焦点をあてた研修を提供してい
きます。現場の指導者の養成や現任ソーシャルワーカーの卒後
教育に恒常的に役割を果たしつつ、高度専門職人の養成を目指
します。

● 参加に関する諸注意

- ★参加者全員に事前に作成していただく課題があります。作成・提出期限等の詳細については、参加が決定後ご案内いたします。
- ★本研修は、文部科学省「大学院教育改革支援プログラム」(大学院GP)の助成を基に運営されます。
- ★毎講座終了ごとに、参加者の方全員に研修効果の評価にご協力いただく予定です。あらかじめご了承ください。
- ★多数申し込みが予測されますので、当日キャンセルはなるべくお控え下さい。

● 申し込みについて (締切り: 2008年11月30日 日曜日)

以下までに事前に参加希望の旨ご連絡ください。
申し込み方法: ①お名前、②御所属、③現在の職種、④連絡先 (住所・
メールアドレス・電話番号) を必ず明記の上、以下までご連絡ください。
Eメールかファックスのいずれかの方法をご使用下さい。
なお、ご記入いただきました個人情報は、本研修会に関するご連絡だけ
の目的で使わせていただきます。

● 問合せ及び申し込み先

同志社大学社会福祉教育・研究支援センター 研修担当 宛

Eメールアドレス derc-sw@mail.doshisha.ac.jp

ファックス番号 075-251-3028